

## 当院初の「認定看護師」誕生！！（4階病棟・看護主任：吉田良子）

4階病棟の吉田良子看護主任が、当院では初となる認定看護師（認定看護分野：『摂食・嚥下障害看護』）を取得しました。

そこで今回、認定看護師としての活躍が期待される吉田主任にインタビューを行いました。

### Q1 認定看護師を目指したきっかけは何ですか？

高齢であったり、脳血管疾患の後遺症等の理由で口から上手く食べることができず、誤嚥性肺炎になってしまうケースに遭う度に、何とかして予防できないか、再び“食べられるチャンス”を与えられないだろうかと悩んだり、悔しい思いをしていました。そんな時にタイミング良く『摂食・嚥下障害看護認定看護師受講課程』の研修案内が目にとまり、「今のうちにやってみよう！！」と思い受講を決意しました。



### Q2 認定看護師受講課程での思い出や、心に残ったシーンを教えてください。

6ヶ月間の受講課程の毎日が楽しかったです。

看護学校を卒業して以来の学生生活であり、宿題やテスト、臨地実習などストレスもありましたが、日々の様々な学びを今までの自分の経験と結びつけて考えることができたので、楽しく学べました。

無事に修了式を迎えられた日と自分の誕生日が同じ日で、クラスみんなにお祝いをしてもらったことが、一番心に残っています。

### Q3 今後の抱負をお聞かせ願えますか？

まずは院内での活動の基盤づくりが第一歩だと考えています。

そのためには認定看護師としての知名度を上げ、『摂食・嚥下障害看護認定看護師』とは何をやる人なのかを理解してもらうことが先決だと思っています。

これからもいろいろな経験を重ねることで学びを深め、様々な理由により“食べる障害”が生じた方に対し、残された機能を十分に生かすことで“食事をする喜び”を再び感じていただけたら・・・という思いで看護を提供していこうと思います。

ありがとうございました。今後ますますのご活躍を期待しています！